



第1085号
2008年6月22日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

WEB: http://www.nskk.org/tokyo/index.htm E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇6月の代祷・信施奉献先

▽野宿生活者の休息施設のため
(きぼうのいえ)▽葛飾学園(サ
ンピエール・保育園)のため▽
沖縄教区のため▽沖縄週間(沖
縄慰霊の日6・23を含む1週
間)▽エリザベスサンダース
ホームのため

《代祷先から》

沖縄週間

今年の沖縄週間は、沖縄慰霊
の日(6月23日)の前後22日から
29日までの1週間。06年日本聖
公会第56定期総会において、「沖
縄週間」の継続を決議した。日本
聖公会の全教区・教会が沖縄の
現実 zu 思いを寄せ、主の平和を
求めて祈ることを目的としてい
る。この週間に合わせて、沖縄教
区と日本聖公会正義と平和委員

会は「沖縄への旅」を企画。沖縄
の歴史と現実を直視し、戦争犠牲
者や痛みを受け継ぐ人々の声にふ
れて、平和実現への思いを深め合
うことを願っている。20日から

23日まで、「命(ぬち)どう宝く隠
された事実―教科書検定問題から
見るく」をテーマにプログラムを
美(聖愛)

展開。沖縄週間の祈り、「歴史と
生命の主である主よ、私たちが
平和の器にしてください。こを
胸中深く。…」

◇堅信受領

6月8日 聖愛教会で
▽沢田秀子▽金児佳子▽池田明

今週・来週の予定

6月22日～7月5日

- 22(日) 聖霊降臨後第6主日
主教巡回 清瀬聖母教会
- 23(月) 聖職養成委員会：教役者宿泊
研修会(～25日・箱根)
財政委員会
- 24(火) 銀座朝祷会
- 26(木) 信仰と生活委員会
- 28(土) 聖バルナバ教会130周年
記念礼拝
- 29(日) 聖霊降臨後第7主日
主教巡回
阿佐谷聖ペテロ教会
- 30(月) 芝公園特別委員会
フェスティバル実行委員会
人権委員会
- 7月
- 1(火) 聖職養成委員会
- 2(水) 教区企画室
- 3(木) インターネット特別委員会
- 5(土) 正義と平和協議会(講演会・協
議会) (聖バルナバ)

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

「恵み」という言葉を思い浮かべるとき忘
れられない出会いがあります。それは私た
ちの小学校で数年前から献金の一部を用い
てご支援させていただいている、フィリピ
ンの子どもたちのことです。遠く離れた友
だち。言葉や人種だけでなく、生活環境も
大きく違う彼らのことを東京の子どもたち
に身近に感じてもらおうと、数年前フィリ
ピンを訪ねました。

マニラから車で5
時間ほどの距離にあ
るインフアンタとい
う漁村にジョエル・
ランポスという少年がいます。まだ小学生
だったジョエルはとても恥ずかしがり屋の
少年でしたが、数日間の滞在の間に次第に
打ち解けていきました。彼の父親は大工で
野菜を村の市場で売って家計を支えている
こと。友人のアレックスは脚を怪我してい
るが治療費が払えないため、病院には行け

ず傷口が化膿してしまっていることなどを知
りました。

別れの時が近づいたとき彼に「どうして僕
だけが学費の援助を受けることができたの？
どうして僕が選ばれたの？」と尋ねられまし
た。そのとき私はどのように答えたらよいか
言葉に詰まりました。なぜなら、ジョエルが
選ばれたのはセンターから単に割り当てられ
ただけで、私たちが彼を選んだ
のではなくったからです。明確
で適切な答えがみつからないま
ま、私は「それは神様のお恵み
だから…」とだけ答えました。

神様のお恵みだから

吉田 太郎

嬉しそうに微笑むあの時のジョエルの純粋で
澄んだ瞳を今でも忘れることはありません。
学ぶことができる、遊ぶことができる、歌
うことができる、笑うことができる…。いま
在る自分を「それは神様のお恵みだから」と
思えることができるなら、私たちの生き方は
もつと豊かなものになるでしょう。

(立教女学院小学校勤務)

常置委員会報告(6月10日)

*日本聖公会総会(5月)関連諸事項、横浜・大阪教区主教按手式の予定、ランベス会議(7月・10年)ごとの全聖公会主教会議、執事試験結果(2聖職候補生の合格)等の主教報告。

*教役者宿泊研修(6月23日・25日・箱根)参加状況について

主教チャプレン報告。

*教区会館排水管修理工事終了、「人権問題調査チーム報告書」閲覧請求状況、教区事務所夏期休業予定等の教務主事報告。
*教区財務諸表・諸委員会予算実績(5月末)等財務主事報告。
*諸委員会および関連活動の進捗等、宣教主事報告。

公 示

神のお許しがあれば、聖職按手式を下記の通り執り行い
聖職候補生 ステパノ 卓 志雄
聖職候補生 パウロ 中村 淳
を公会の執事に叙任します。
主にある諸教会のご加持とご臨証をお願いいたします。

教主降生 2008年6月16日
日本聖公会東京教区主教
主教 ペテロ 植田仁太郎
記

日時：2008年7月12日(土)
午後2時より
式場：東京教区聖アンデレ主教座聖堂
東京都港区芝公園3-6-18
祭色：白を用います。

以 上

*幼稚園・保育園08年度予算確認等の宣教主事補報告。

*教区委員委嘱追認、信徒奉事者認可・分餐奉仕者の許可。

*第106(定期)教区会決議録精査終了の確認、各種決議録の製本・保管の徹底方協議。

*財政委員会提出「伝道牧会資金」運用充実案につき協議。意趣を承認し、教区会審議手順を要請する旨、答申する。

*執事按手式の日程協議(7月12日・土・14時・主教座聖堂)、横浜教区主教按手式(6月20日)への代表出席者(司祭大畑喜道常置委員長)の選定。
*その他。

▽横浜教区主教に三鍋裕師就任
6月20日(金)10時、主教

【学びと働きから】79

総会での審議議案から

今回の日本聖公会総会(5月)において議論が交わされ、関心の高かった重要な3つの決議について報告する。

①現在の日本聖公会11教区を複数の宣教協働ブロックに編成し、2総会期(4年間)取り組む件 日本聖公会の宣教の活性化と教区間協働の更なる促進を目的として、2012年の取り組み終了後には、教区制改革・再編をも視野に入れた情報・意見交換の協議会を開催するという内容である。各教区の自主性・自立性を尊重しつつも、教区間の壁を低くして困難な問題を共に考

え、持てるものを共有したり融通したりすることで、互いの教区が活性化され宣教の実があることに期待をしたい。

②日本聖公会「教役者標準給与表」の作成並びに「教役者給与支援システム」の実施に向けて作業する準備委員会を設置する件 現在の各教区における教役者待遇は、内容、方法共に余りに差異が大きく、広い視野をもった人材の配置や教区間の宣教協働を著しく困難にしているとの認識に立っての提案である。給与水準の低さは当然ながら人材確保を困難にする。総会がその難問に目を向け、教区を越え取り組む意思表示をしたことは総会史上、格別の意義があったように思える。

③日本聖公会宣教協議会及びプレ宣教協議会開催の件 日本聖公会宣教協議会を2012年に開催すること及びその準備として2010年にプレ宣教協議会を開催するという内容である。1995年の宣教協議会では教会の戦争責任宣言を出したが、広く聖職・信徒に浸透しなかった反省に立ち、今回の提案は、プレ宣教協議会まで2年、更に宣教協議会開催までに2年という準備期間をとったことが重要であると解される。この間に宣教の現場である教会においてこの問題が討議され、宣教協議会に集約されることを期待したい。

総会代議員 山田 益男

按手式・教区主教就任式が横浜聖アンデレ主教座聖堂で行われた。説教者は佐藤忠男元東北教区主教(退職)。東京教区から植田主教らが参列した。「関連記事」常置委員会報告欄」

▽正義と平和協議会講演会と協議会》 7月5日(土) 14時～16時半、牛込聖公会聖バルナバ教会で。正義と平和協議会主催。①講演会『聖公会信徒・現職教員の岸田静江・井黒豊両氏からお話を聴く会』「強制」から自由であるために：君が代・日の丸問題』、14時～15時半。会費500円。②協議会構成

員による協議会(運営規定変更その他の審議と課題共有へ向けた懇談)、15時半～16時半。欠席の場合は委任状提出要(案内書参照)。いずれも照会などは教区事務所・宣教主事宛に。

▽沖繩週間「沖繩の旅」(第6面の「代祷先」紹介欄参照) 東京教区からは、中村真理スタッフ(聖マルコ教会)ほか一般参加者1人が予定されている。

▽超教派「教会音楽祭」(第29回) 09年開催・聖公会担当」のたのめテーマ賛美歌創作歌詞を公募(再募集) テーマは「わたしたちを誘惑におちいらせずか

《08年フェスティバル*あなたとともに》 9月23日(火・秋分の日) 10時半～・立教女学院

えって悪からお救いください。応募締め切りは8月末で、礼拝音楽委員会委員長・宮崎光司祭「教区事務所」へ。詳細は各教会・礼拝堂宛配布の募集要項およびテーマ解説参照。

▽立教大学レクチャーコンサート(同大学音楽研究所・チャプレン室共催) 同大学音楽研究所設立10周年記念の夏季コンサート。「聖書の人物に出会う・①『ダビデとヨナタン』」。6月27日(金) 17時～18時15分、立教学院諸聖徒礼拝堂(池袋キャンパス)。レクチャー＝上田亜樹子司祭のほかパークッション、オルガン、同礼拝堂聖歌隊などの演奏・出演。入場無料。照会☎03(3985)2786(同大学音楽研究所)。

▽東京聖三一教会創立120周年記念講演会 講師・日野原重明聖路加国際病院名誉院長(日本音楽療法学会理事長他)による「心の癒しと身体の健康」。7月6日(日) 14時、入場無料。照会☎03(3421)3646。

▽練馬聖方ブリエル教会コンサート 6月29日(日) 16時開演。出演「合唱団、フォーレを歌う会」(同教会信徒が中心となり同教会を拠点に活動する合唱団)。演奏曲目「フォーレ・レクイエム他。入場無料。照会☎03(3955)0682。

▽東関東地区の聖公会合同キャンプ(含横浜教区) 恒例になっている教区・教会を越えての合同家族キャンプで7月25日(金)～27日(日) 2泊3日、

清里・清泉寮。費用その他の照会及び申込先☎松戸聖パウロ教会の担当委員宛、☎047(388)4070。6月29日申込締め。下町教会グループ各教会には案内書が配付されている。

▽「聖公会神学院内権問題調査チーム」最終報告書学習会 同報告にもとづき、主教・常置委員・神学院関係者・教区聖職養成委員で学びを深めようと、6月11日より勉強会を始めている。

▽東京教区HP更新 本紙のPDF版およびテキスト版を掲載し、催事ポスターなどもアップしている。またトピックス欄では、教区レベルでの催事・集会(今年1月来)の簡単な報告記事を写真入りで掲載中。

《今、この教会では…》

東京聖十字教会

牧師不在の時期を経て、ようやく本来の姿に戻ったばかり。週ごとに違う先生に礼拝を行なって頂くのも普段、なかなかできない体験でした。今年「按手」を受けた須賀司祭と、新しく体制を立て直そうと歩み出したところです。信徒全員で守ってきた当教会ですが、軸となる担当牧師の存在の大きさを改めて思います。受聖餐者数の減少、高齢化などありますが、先月から皆で軽いお喋りの出来る場をと、「サロン」を始めました。現状を逆手にとって、65歳以上の配役によるページェントなども企画中です。乞うご期待。(加納 厚)